

地域脱炭素移行・再エネ推進事業計画（脱炭素先行地域づくり事業） 表紙

自治体名	名称	自治体コード	※都道府県名、自治体コードを記入する		
	堺市	271403	都道府県名	大阪府	270008

財政力指数	0.79
-------	------

事業計画名	堺エネルギー地産地消プロジェクト				
事業計画の期間	開始年度：	令和5年度	終了年度：	令和10年度	

申請額 (円)	総事業費	交付対象事業費 <①>	うち設備整備事業の額 <②=①の内数>	うち効果促進事業の額 <③=①の内数>	効果促進事業割合 <③/②>	交付限度額 <①×交付率等>
	5,246,405,000	4,817,285,500	4,817,285,500	0	0.0%	3,299,985,000

申請額（年度別） (円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	74,898,000	284,662,000	544,580,000	1,468,710,000	642,059,000	285,076,000
	合計額（=交付限度額）					
	3,299,985,000					

事業効果	再エネ導入量 (kW)	CO2削減効果 (t-CO2)	費用効率性 (円/t-CO2)
	8,707	111,475	29,603

計画の目標（期待される効果）	脱炭素の取組に伴う地域課題の解決や住民の暮らしの質の向上等とその効果					
	都心エリアにおいて、SMIプロジェクト等の取組を通じて以下のような課題解決や効果を図る。 ・多様な人が快適に過ごし、滞在することができるバリアフリー環境や回遊性の向上 ・ウォークラブルな空間形成に伴う市民の健康増進 ・マイカーから公共交通への利用転換 ・都心エリアにおける様々な情報やサービスを一括して提供するCity as a Serviceによる、市民生活の質的向上 ・居住者や来訪者の増加や、先進技術革新の場として、多くの人材や民間投資を呼び込むことにより、活力創出と地域経済の活性化 ・都心エリアの都市魅力を向上させ堺市の発展をけん引					
	K P I（重要業績評価指標）					
指標	堺東駅・堺駅の乗降客数（定期利用者を除く）					
	現在（2022年3月）	33,148人/日			最終年度：2025年度	45,000人/日

計画の目標（期待される効果）	脱炭素の取組に伴う地域課題の解決や住民の暮らしの質の向上等とその効果					
	太陽光発電、蓄電池、燃料電池といった自立分散型電源を備えた次世代ZEH+は住宅個々の電力自給率を高め、また、災害時の備えにもなるため、次世代ZEH+の普及を進めることで、市域の電力自給率を高める。					
	K P I（重要業績評価指標）					
指標	電力自給率（市域）					
	現在（年月）				最終年度：2030年度	26.5%

計画の目標（期待される効果）	脱炭素の取組に伴う地域課題の解決や住民の暮らしの質の向上等とその効果					
	1967年のまちびらきから50年以上が経過した泉北ニュータウンは人口減少・高齢化の傾向が強く、また、大量に供給された公的賃貸住宅は、老朽化し、設備や間取りなどが居住者のニーズに対応できなくなっており、居住者のライフステージや多様化するライフスタイルに対応した住宅を供給することが求められる。公的賃貸住宅などの再編に伴い発生する活用地の土地利用については、長期的な視野のもと、積極的に民間活力を導入することで、将来にわたって多様な世代が快適に住み続けることができる。					
	K P I（重要業績評価指標）					
指標	泉北ニュータウン全人口に対する39歳以下の人口割合					
	現在（2022年3月）	30.5%			最終年度：2030年度	29.8%（推計値28.8%を上回ることを目標）

計画の目標（期待される効果）	脱炭素の取組に伴う地域課題の解決や住民の暮らしの質の向上等とその効果					
	「デジタル×ナッジによる環境行動変容」事業は、CO2削減のみではなく、直接的なごみ削減効果（R4年度想定削減量：70t）も生み出すことに加え、環境行動変容の結果、家庭内での食品ロス削減や分別の徹底等にもつながることが期待でき、家庭ごみ排出量の削減に寄与する。併せて、例えば自転車利用の促進など、健康にもつながる環境行動を促進することで、健康寿命の延伸にもつながることが期待できる。また、活用地区で次世代ZEH+のような快適で健康な暮らしを提供することでも、健康寿命の延伸に寄与する。					
	K P I（重要業績評価指標）					
指標	①1人1日あたり家庭系ごみ排出量 ②健康寿命					
	現在①2022年3月 ②2019年	①638g以下 ②男性72.82歳 女性74.46歳			最終年度：2030年度	①580g以下 ②男性74.00歳 女性77.00歳

